記者発表資料

平成２７年６月２６日
浅瀬石川ダム管理所

フラッシュ放流により浅瀬石川の河川環境を良くします

浅瀬石川ダムでは，ダム利水者の協力のもと，下流河川の環境改善を目的としてフラッシュ放流を行います。
フラッシュ放流とは，河川内のよどみや枯れた藻類，河床に堆積した泥等などを，一時的にダムからの放流量を増加させることによって，一緒に洗い流すことです。これにより，現在，渇水状況にある「河川環境のリフレッシュ」をはかることができます。

【日　時】
平成２７年６月３０日　１０時００分から１４時００分（予定）

【ダムからの放流量】
① ８時から発電放流を増加し，１０時頃発電放流を最大の２３ｍ３／ｓとします。
② その後、１０時００分よりダムゲートから放流を開始し，１２時００分頃ダムゲート放流量最大１７ｍ３／ｓの放流を行います。
③ 発電放流（２３ｍ３／ｓ）とゲート放流（１７ｍ３／ｓ）を併わせ約４０ｍ３／ｓを１４時００分まで２時間継続します。
※現在のダム下流への放流量は１０ｍ３／ｓ（発電放流）程度

【想定される区間及び過去の改善効果】
区間：浅瀬石川ダム～朝日橋（ＪＲ奥羽本線付近）
効果：これまでの効果では，河床材料の洗い出しによる新たな藻類の成長が確認されました。

※協力機関
・東北電力，浅瀬石川土地改良区，津軽広域水道企業団，浅瀬石川漁業協同組合
（浅瀬石川土地改良区は頭首工のゲートを一時的に開けて環境改善に協力）

※留意事項
・一時的に河川の水位が上昇しますので、河川を利用される方は注意して下さい。
・放流実施前には，警報所から落合地区までスピーカーによる警報および警報車による広報を行います。
・降雨による河川の増水が予想される場合は，中止することもあります。

＜　発表記者会：弘前記者会，津軽新報　＞

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　浅瀬石川ダム管理所
青森県黒石市大字板留字杉の沢２
TEL　０１７２－５４－８７８２
管理所長　　髙橋　忠良　（内線２０１）
専門職　　林　秀治　（内線３３０）